

平成26年度
主な施策の成果

— 玉 城 町 —

< 目 次 >

■ 一般会計	．．．．．	P 1 ～
第 1 款	議会費	．．．．． P1 ～
第 2 款	総務費	．．．．． P1 ～
第 3 款	民生費	．．．．． P5 ～
第 4 款	衛生費	．．．．． P11 ～
第 5 款	労働費	．．．．． P14 ～
第 6 款	農林水産費	．．． P15 ～
第 7 款	商工費	．．．．． P17 ～
第 8 款	土木費	．．．．． P18 ～
第 9 款	消防費	．．．．． P21 ～
第 10 款	教育費	．．．．． P22 ～
第 12 款	公債費	．．．．． P27 ～
第 13 款	諸支出金	．．．． P27 ～
■ 国民健康保険特別会計	．．．．．	P 29 ～
■ 山村振興事業特別会計	．．．．．	P 32 ～
■ 農業集落排水特別会計	．．．．．	P 33 ～
■ 介護保険特別会計	．．．．．	P 34 ～
■ 後期高齢者医療特別会計	．．．．．	P 35 ～

※各施策には玉城町第5次総合計画、行財政改革プランの関連施策の体系を示しています。

<有効性>

- A 十分な効果があり、やり方も望ましく実施できた
- B 効果は得られたが、もう少しやり方を工夫すればより良くなる
- C 期待する効果は得られなかったものの、やり方は望ましい
- D 事業の見直しが必要
- E 事業の休止又は廃止が必要

<達成度>

- ◎ 目標を超えて達成できた
- 目標どおり達成できた
- 目標近く達成できた（達成度 80%程度）
- △ 目標には及ばなかった
- × 全くできなかった

※この資料は、平成26年度施策の主な成果を記載したものであり、決算額合計と一致しない部分があります。

一 般 会 計

款 1 議会費 項 1 議会費 目 1 議会費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	77,239	78,437
決算額	77,035	78,348

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				78,348
本年				
前年				77,035

議会事務局

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 議会経費	78,348	<ul style="list-style-type: none"> ・議員に係る人件費および議会活動に要する経費等 ・行政視察の実施 ・会議録の作成 ・議会映像配信事業 ・議会ホームページの開設(H27.9) 	○	A	公-1 (P133)	2-②-7 (P48)

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 1 一般管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	167,914	233,804
決算額	163,598	229,765

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
940	24,386		7,730	196,709
本年				
前年				155,374

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 一般管理経費	451	・職員の人材育成のため、ステップ別研修、法制執務研修、洋上研修等を実施した。	○	A	公-1 (P133)	2-②-7 (P48)
2 一般管理公室経費	2,110	・情報公開制度、個人情報保護制度に関する経費 個人情報に的確に保護を行いつつ、適切に情報公開を行った。 (情報公開請求:147件/不服申立て件数:0件) 情報の公開性維持のためのシステム管理を行い文書整理を行った。	○	A	協-4 (P130)	-

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 2 文書広報費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	3,623	4,842
決算額	2,231	4,707

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3		1,166	3,538
本年				
前年				1,062

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 広報広聴経費	4,707	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報たまき」の発行 ・毎月発行(年計12回、各号4,900部) ・町政の方針、事業計画概要および行事予定等広く町民に知らせている。 ・編集は各課の編集委員が情報収集、取りまとめを行い、編集委員会で協議・検討している。 ・地域担当制の導入により、地域担当員が区長宅へ広報を配送している。 ・自治区(区長)の協力のもと、全戸に配布している。また、区に属さない世帯も希望者へ郵送配布している。 ・広報編集業務をプロポーザルにより9月号から委託開始。 ・広報誌にAR機能を導入し、情報発信を強めた。 ・9月にはホームページをリニューアルした。 	○	A	協-3 (P130)	-

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 3 財政管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	20,257	16,042
決算額	19,263	14,805

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				14,805
本年				19,263
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 財政電算化事業	6,736	現在使用している電算機器(PC、プリンタ等)の賃借料および適切に運用するため保守点検等手数料。	○	A	-	-

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 5 財産管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	203,732	217,351
決算額	200,631	199,387

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				199,387
本年		109,000		91,631
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 財産管理経費	24,901	・庁舎を適正に使用できるように保ち、業務に支障をきたさないよう庁舎機能の維持を行った。 (庁舎清掃、運転管理、空調保守、庁舎修繕工事)	○	A	-	-

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 6 企画費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	6,243	97,056
決算額	5,565	28,217

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,947	8	1,500	16,762
本年		298		5,267
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 第5次玉城町総合計画後期基本計画策定業務	2,786	・H26年度～27年度にかけ第5次玉城町総合計画後期基本計画の策定に着手。H28年度～H32年度の計画策定となる。	○	A	-	-
2 男女共同参画事業	255	・男女共同参画を推進するため、男女共同参画意識の高揚を図るため、映画祭を実施した。	○	A	1-3-4-1 1-3-4-2 (P44)	1-①-11 (P39)
3 路線バス運行業務委託	1,608	・玉城線(玉城町役場～伊勢市駅間)のバスの運行を三交伊勢志摩交通㈱に委託して、高齢者等の日常生活の移動手段を確保した。	○	A	4-3-3-2 (P118)	-
4 まちづくり研修会	672	・協働のまちづくりを実践するため、自治区の方々と共に先進事例を視察して、防災対策においても認識と理解を深めるため、まちづくり研修会を実施した。(静岡県地震防災センター、浜松市消防本部ほか参加者35名)	○	A	協-6 (P130)	1-①-12 (P39)

税務住民課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 社会保障・税番号制度システム改修業務委託	14,642	・社会保障・税番号制度導入に備えて、住民基本台帳、地方税務、団体内統合利用番号連携サーバーおよび中間サーバーのシステム改修を行った。	○	A	-	-

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 7 交通安全対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	6,589	6,302
決算額	6,407	6,179

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,151	3,028
			3,253	3,154	

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 交通安全対策経費	4,012	・交通安全協会及び伊勢度会地区交通安全対策協議会による交通安全運動等を通じ地域の交通安全啓発などを行い交通事故防止に努めた。 ・平成26年交通事故総件数 →435件(前年比:10件増)うち死亡者数3人(前年比2人増) ・交通安全協会玉城支部補助金 256千円 ・伊勢度会地区交通安全対策協議会負担金 253千円 ・看板・啓発物品等の購入 598千円 ・ヘルメット購入補助金159千円	△	A	2-3-3-1 2-3-3-2 (P74)	1-②-23 (P41)

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 8 地域情報化推進費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	40,485	23,683
決算額	34,942	23,099

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,000	20,099
			1,000	33,942	

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 情報化推進経費	7,407	・地域イントラネット・LGWAN・グループウェア・インターネット接続などの経費	○	A	公-2 (P133)	2-③-21 (P50)
2 CATVたまきチャンネル運営経費	15,692	・議会中継、知っ得納得、特別番組などの番組作成・放映を行い住民に周知を図った。	○	A	協-3 (P130)	-

款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 9 諸費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	26,557	27,630
決算額	24,727	26,174

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,500	23,674
			1,001	23,726	

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 区集会所建築(改修)補助金	3,453	・各地区集会所整備に係る経費の一部を補助し、自治区の育成及び住民の行政参画の拡大を図るための事業。本年度は8地区(9件)に交付 【大手町・井倉・山神2件・妙法寺・岡出・新田町・富岡・宮古】	○	A	協-6 (P130)	1-①-12 (P39)
2 地域活動助成金	1,712	・自治区等の地域をより良くしていこうとする活動に対する取組みを支援し、地域の繋がりを強化し、地域力を高めることを目的に自治区の事業・活動に対して助成(自治区ごとに限度額を設定 68自治区中申請のあった55地区に交付)	○	A	協-6 (P130)	1-①-12 (P39)

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 生活福祉課諸費経費	4,890	<ul style="list-style-type: none"> 生活推進協議会の開催(協議会2回、毎月1回2～3名体制で町内パトロール実施) 自治区防犯灯設置事業に対し、補助を実施した。(補助自治区36地区169基) 町内防犯灯のLEDへの取替等を行った(新設41基・取替75基) 伊勢度会地区生活安全協会の広域的な事業活動として、防犯啓発広報誌(回覧)を定期的に発行した。 振り込め詐欺・空き巣情報など防災無線で住民周知を図った。 	○	A	2-3-4-1 2-3-4-2 2-3-4-3 (P76)	1-④-32 (P44)

款 2 総務費 項 2 徴税費 目 2 賦課徴収費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	62,852	60,111
決算額	59,403	58,679

	決算額の財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
本年		73		7,157 51,449
前年		346		3,666 55,391

税務住民課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 固定資産評価業務委託	9,587	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度評価替えに向け、今まで構築してきた町内及び隣接市町との価格バランス等を確保しつつ、評価基準等に基づいた適正な土地評価を行うため、評価替え作業に必要な諸資料の作成を行った。 	○	A	-	-
2 固定資産評価替えに伴う鑑定評価(時点修正)	702	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の固定資産税(土地)の評価替えに向けて、町内50ヶ所の詳細な土地鑑定を行った。 	○	A	-	-
3 収滞納管理システム連携業務委託	6,869	<ul style="list-style-type: none"> e-AD収滞納システムと他システム(介護保険システム、後期高齢者医療システム)を一元管理するため、システム改修を行った。 	○	A	公-7 (P135)	2-⑦-45 (P53)

款 2 総務費 項 4 選挙費 目 4 知事選挙費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額		1,986
決算額		1,901

	決算額の財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
本年		1,896		5
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 知事選挙費	1,901	<ul style="list-style-type: none"> 選挙に係る準備経費(ポスター掲示板納品設置等) 	●	B	公-5 (P134)	-

款 2 総務費 項 4 選挙費 目 5 県議会議員選挙費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額		1,205
決算額		1,186

	決算額の財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
本年		1,185		1
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 県議会議員選挙費	1,186	<ul style="list-style-type: none"> 選挙に係る準備経費(入場券等作成等) 	●	B	-	-

款 2 総務費 項 4 選挙費 目 7 衆議院議員選挙費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額		5,631
決算額		5,624

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,615			9
本年				
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 衆議院議員選挙費	5,624	・開票集計システムを導入し効率化、人員の削減に努めた。 ・前回衆議院議員選挙の投票率63.97%から5.93ポイントダウンし58.04%となった。	●	B	公-5 (P134)	-

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 1 社会福祉総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	522,946	588,871
決算額	512,967	588,440

※決算額には前年度からの繰越を含む

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
33,764	69,108		13,000	472,568
本年				
前年	5,312	58,601	3,000	446,054

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 バス運行事業	28,554	①研修バス 社会福祉協議会へ委託。各課から申請を受け運行(年間件数 277件)。申請の主なもの、教育委員会からの小中学校総合学習・クラブ活動等(178件)をはじめ、福祉関係(54件)であった。 ②福祉バス 平成9年から運行をはじめ、路線型の無料のバスとして運行。平成21年11月から元気バスに移行するも、小俣図書館への送迎路線として1日当たり2便を残し運行中。 (年間延べ利用者数 2,291人) ③元気バス 路線型の福祉バスに代え平成21年11月4日から東京大学大学院と共同でオンデマンドバスシステムを導入し運行。バス停数は、161カ所。 (年間延べ利用者数 26,487人) 東京大学との共同研究で、高齢者医療費の抑制効果があることも判明した。	○	A	4-3-3-2 4-3-3-3 4-3-3-4 (P118,119) 2-2-2-8 (P61)	1-①-31 (P40)
2 子ども子育て支援関連三法に伴う事業	3,780	子ども子育て支援計画を策定し、関係例規の整備を行った。	○	A	1-1-1-1 (P21)	-
3 地域支え合い事業	641	地域の公民館でいすに座って行う体操教室「柔らかクラブ」を開催できるように、パイプいすなどの貸し出し、立ち上げ支援を行った。1ヶ所設置、1ヶ所が立ち上げ準備が完了した。このような運動サロンなどを地域で運営して行くための人材育成講座を3回シリーズで開催した。	◎	A	2-2-2-1 (P58)	
4 追悼式事業	438	戦没者追悼式を実施した。(10月11日、参列者約188名)	○	A	-	-
5 ICT安心・元気なまちづくり事業	3,178	見守り用携帯端末貸与、携帯端末利用料補助を行った。24人	△	D	2-2-2-8 (P61)	
6 臨時福祉給付金事業	27,555	消費税の引き上げに際し、低所得者の住民に対し暫定・臨時的な措置として給付金を支給した。(対象者 1,814人)	○	A	-	-

款 3 民生費 項 1 社会福祉総務費 目 2 人権対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	718	691
決算額	670	680

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		181			499
		197			473

税 務 住 民 課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 人権啓発対策事業	680	・人権啓発の一環として、人権講演会の開催、町主催イベントでのパネル展示および啓発物品の配付などを行った。	○	A	1-2-4-1 (P35)	-

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 3 老人福祉費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	13,123	13,197
決算額	12,737	12,587

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		398		2,232	9,957
		448		2,331	9,958

生 活 福 祉 課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 老人福祉事業	2,906	○敬老祝い金支給事業・・・敬老の日に合わせて、町内に住所を有する77・88・99歳の高齢者に対して、敬老祝金を支給することにより、敬老の意を表すとともに長寿を祝福し、高齢者の福祉に寄与した。 (支給件数 224件)	○	A	2-2-2-1 (P58)	-
		○高齢者表敬事業・・・100歳以上と年内に99歳になる方に町長が記念品と花束を持参し表敬訪問した。8名	○	A	2-2-2-8 (P61)	-
		○65歳以上寝たきり、認知症老人介護手当給付事業・・・寝たきり老人、認知症老人を抱える家族に対し、月額7,500円を支給した。2名	○	A	2-2-2-3	-
2 高齢者の生きがいと健康づくり事業	2,088	○緊急通報体制整備事業・・・おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者に、緊急通報装置を設置し、日常生活の不安解消と緊急時の医療機関への搬送体制を整備した。 (貸与件数11件 うち非課税世帯11件)	○	A	2-2-2-8 (P61)	-
		○配食サービス・・・虚弱な65歳以上の独居、又は高齢者のみの世帯に対して、第2・第4日曜日に見守りを兼ねて居宅に訪問し、栄養のバランスのとれた食事を提供した。(月平均利用者数31人、745食)	○	A	2-2-2-8 (P61)	2-④-32 (P51)
		○老人クラブ活動など社会活動促進事業・・・社会福祉協議会を通じ老人クラブに補助した。	○	A	2-2-2-8 (P61)	-
3 老人保護措置事業	7,593	○郡福祉施設負担金として、わたらい老人福祉施設組合に負担金を支出した。 養護老人ホーム入所措置費(入所者4名)	○	A	2-2-2-8 (P61)	-

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 4 介護予防費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	4,906	1,888
決算額	4,809	1,745

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,922				1,745
本年				
前年				1,887

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 介護予防プラン委託事業	1,745	更新申請により、引き続き要支援1・2の認定を受けた方のケアプランの作成を町内居宅介護支援事業所に委託する事業 町内3事業所に委託を行った	◎	A	2-2-2-5 (P60)	

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 5 国民年金費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	4,532	5,784
決算額	4,515	5,778

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,959				819
本年				
前年	3,222			1,293

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 国民年金事業	1,757	資格関係届出等 454件、裁定請求等 12件、保険料免除等申請 567件、その他相談業務を実施した。	○	A	2-2-4-3 (P66)	—

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 6 児童手当費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	293,521	298,728
決算額	293,518	298,688

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
207,566	45,084			46,038
本年				
前年	203,263	44,534		45,721

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 児童手当支給事業	298,688	0歳から中学校修了までの子どもを養育する父母等に手当を支給し、子どもの健全育成を図った。(受給者数 1,344名) 【平成26年4月～平成27年3月分】 0歳～3歳未満 15,000円(一律) 3歳～小学校修了前 10,000円(第3子以降は15,000円) 中学生 10,000円(一律)	○	A	1-1-1-1 (P21)	—

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 7 心身障害者福祉費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	212,699	242,714
決算額	209,183	238,259

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
108,165	54,084			76,010
本年				
前年	98,080	49,023		62,080

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 障がい者入学祝金	40	重度の障がいのため必要となる精神的、経済的な負担を軽くするため、小・中・高等学校入学祝い金として年額10,000円を支給した。(対象人数 4人)	○	A	2-2-3-1 (P63)	—
2 日常生活用具給付	2,232	在宅の重度心身障がい者(児)に対し、特殊ストマ、紙おむつ、入浴補助用具等を給付することなどにより、日常生活の安定を図った。(給付人数 28人)	○	A	2-2-3-1 (P63)	—

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
3 補装具交付及び修理費支給	1,486	失われた身体機能を補うための補装具の交付及び修理を行い、日常生活や社会生活の向上を図った。 (交付及び修理延べ人数 24人)	○	A	2-2-3-1 (P63)	—
4 更生医療給付	1,102	身体障がい者の障がいを軽減し、また取り除くなど、必要な医療費の軽減を図った。 (給付人数 3人)	○	A	2-2-3-1 (P63)	—
5 育成医療給付	518	身体障がい児の障がいを軽減し、また取り除くなど、必要な医療費の軽減を図った。 (給付人数 9人)	○	A	2-2-3-1 (P63)	—
6 療養介護医療費給付	2,639	療養介護を必要とする障がい者の必要な医療費の軽減を図った。 (給付人数 3人)	○	A	2-2-3-1 (P63)	—
7 重度心身障がい者等介護手当支給	360	精神又は身体に重度の障がいがある者の介護を行なう家族等に対し当該手当を支給し、介護の経済的負担軽減を図った。 (支給人数 4人、月額7,500円支給)	○	A	2-2-3-1 (P63)	—
8 障がい福祉サービス費給付	204,923	障がいのある人が地域で自立した生活を営むため必要な福祉サービス費の給付を行った。 (年間利用人数) ・住宅介護等 173人 ・短期入所 83人 ・共同生活介護 7人 ・療養介護 36人 ・施設入所支援 162人 ・共同生活援助 77人 ・自立訓練 28人 ・就労継続支援(A型・B型) 518人 ・特定障害者特別給付 246人	○	A	2-2-3-1 2-2-3-3 2-2-3-4 (P63,64)	—
9 移動支援	613	屋外での移動が困難な障害のある人について、外出のための支援を行った。 (利用者 6人)	○	A	2-2-3-1 (P63)	—
10 日常生活支援	7,336	自立した日常生活又は社会生活を営むための生活訓練、日中活動の場の提供を行った。(利用者 22人)	○	A	2-2-3-1 2-2-3-4 (P63,64)	—
11 障害者相談支援事業	6,064	障がいのある方、介護者からの相談に応じ、必要な情報提供等援助を行った。 (相談支援事業者プレスへ委託 相談件数1,082件)	○	A	2-2-3-1 (P63)	—

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 8 福祉医療費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	111,141	115,690
決算額	108,420	113,616

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年		45,043		200	68,373
前年		43,851			64,569

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 障がい者医療費助成事業	45,620	障がいのある方の医療費助成を行った。 登録者数 一般:342人 高齢:237人	○	A	2-2-3-1 (P63)	—

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
一人親家庭等 2 医療費助成事業	9,771	一人親家庭等の父母、児童の医療費助成を行った。 登録者数 父母:180人 児童:268人	○	A	1-1-1-6 (P23)	-
3 子ども医療費 助成事業	46,302	小学6年生(～8月)、中学3年生(9月～)までの乳幼児・児童の医療費助成を行った。 登録者数 2,360人	○	A	1-1-1-1 (P21)	-

款 3 民生費 項 1 社会福祉費 目 9 福祉・保健施設費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	32,742	80,987
決算額	30,854	79,869

※決算額には前年度からの繰越を含む
生活福祉課

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		27,600	21,782	30,487
本年				
前年	3,277		7,274	20,303

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 保健福祉会館 増築工事業	53,519	保健福祉会館の利便性を高めるため、増築(144.57㎡)及び駐車場整備(64台分)等を行った。	○	A	1-1-1 1-1-2 2-1-1 2-1-2 2-2-1 2-2-2 2-2-3	-

款 3 民生費 項 2 児童福祉費 目 1 児童福祉総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	456,518	450,247
決算額	449,923	446,802

※決算額には前年度からの繰越を含む
生活福祉課

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,180	5,516		82,919	329,187
本年				
前年	9,184	7,700	65,052	367,987

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 地域子育て支 援センター事 業	16,222	子育てをする母親等のニーズに対応した事業(育児不安に対する支援や子育てサークル・ボランティア支援等)を積極的に実施し、保健福祉会館を活動拠点に子育て支援を行なった。 電話相談・面接相談 随時/1歳のひろば、2歳児のお子さんあつまれ 月1回	○	A	1-1-1-3 (P22)	1-⑤-36 (P46)
2 チャイルドシ ート助成事業	742	就学前の児童にチャイルドシートの着用が義務化されたことに伴い、町単独の少子化対策として、チャイルドシート購入費の2分の1を助成し、子育ての経済的負担軽減と乳幼児の死傷事故の防止を図った。 (助成件数 86件)	○	A	1-1-1-1 (P21)	-

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
3 各種保育事業	402,549	<p>○児童保育事業 保護者が労働に従事したり、あるいは病気を患っている等の理由で、家庭で十分保育をすることができない児童を、家庭の保護者にかわって保育し、児童の健全育成を図った。 (入所児童数 600人(H27.3.31現在))</p> <p>○延長保育推進事業 早朝(午前7時30分から)と夜間(午後8時まで)の延長保育を実施し、仕事と家庭の両立支援を行った。 (申込者数 211名(H27.3.31現在))</p> <p>○障がい児保育事業 心身に障がいのある児童のため、保育士を補充する等、障がい児の処遇の向上と併せて保育の充実を図った。 (障がい児 9名(H27.3.31現在))</p> <p>○乳児保育促進等事業 多様な保育ニーズに対応するため、0歳児保育を実施し、保育士を配置する等、保育の充実を図った。 (0歳児児童数 32名(H27.3.31現在))</p>	○	A	1-1-1-4 (P22)	1-②-7 (P40)
4 子育て世帯臨時特例給付金事業	21,410	消費税率の引上げに伴う子育て世帯への影響緩和を図るため給付金を支給した。 支給件数 1,220件(対象児童数 2,141人)	○	A	—	—

款 3 民生費 項 2 児童福祉費 目 2 児童福祉施設費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	676	113,710
決算額	670	111,375

※決算額には前年度からの繰越を含む
生活福祉課

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,268		53,053	47,054
本年				670
前年				

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 放課後児童対策事業	28,354	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生(主に小学校低学年の児童)の児童に対し、放課後の遊びや運動等の指導を行い、児童の健全育成を図った。(利用者数 さくら児童クラブ:49人 梅がおか児童クラブ:34人 いなほの郷児童クラブ:35人 つつじが丘児童クラブ:49人(H27.3.31現在))	○	A	1-1-1-5 (P22)	1-②-7 (P40)
2 保育施設事業	79,599	保育所運営・施設維持費、給食材料等	○	A	1-1-1-4 (P22)	1-②-7 (P40)

款 3 民生費 項 2 児童福祉費 目 3 母子福祉費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	676	647
決算額	670	638

生活福祉課

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				638
本年				670
前年				

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 一人親家庭等入学祝金支給事業	440	入学児童を有する一人親家庭又はこれに準ずる家庭に対し入学祝金を支給することにより、当該児童の成長を祝福し、福祉の増進を図った。小・中・高の入学者1人10,000円の入学祝金を支給した。 (平成26年度 44名)	○	A	1-1-1-6 (P23)	1-③-35 (P43)

款 3 民生費 項 2 児童福祉費 目 4 児童福祉施設整備費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	26,922	6,120
決算額	20,799	4,176

※決算額には前年度からの繰越を含む

生活福祉課

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			14,000	4,176
本年				
前年				6,799

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 保育所プール改修事業	3,672	外城田保育所のプールの改修を行った。	○	A	1-1-1-1 (P21)	-

款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 1 保健衛生総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	217,328	195,755
決算額	216,426	195,426

生活福祉課

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
487	243		214	194,482
本年				
前年	124		13	216,289

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 保健衛生総務費事業	150,414	・野犬捕獲等を行った。61件 ・菊狭間環境整備施設組合負担金(玉城・明和で構成、ごみ収集) 50,155千円 ・伊勢広域環境組合負担金(1市3町で構成、ごみ処理・し尿処理・斎場) 100,213千円	○	A	4-2-2-1 (P107)	-
2 保健総務費事業	8,661	一次救急、二次救急医療を伊勢地区医師会に委託し、休日及び夜間の医療体制を伊勢地区で共同運用した。	○	A	2-1-2-2 (P53)	-
3 未熟児養育費給付事業	1,303	未熟児(出生時2,000g未満の乳児等)の入院医療費を支給した。(支給人数 6人)	○	A	1-1-2-1 (P25)	-

款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 2 予防費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	78,943	94,149
決算額	76,001	90,469

生活福祉課

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,345	1,393		10,244	77,487
本年				
前年	968	1,131	976	72,926

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 予防事業	3,947	正しい食生活や健康づくりを地域に伝達し、活力ある地域社会を目指し活動をする食生活改善推進協議会ははじめ、各種協議会等への補助および負担を行った。また、健康管理システムを導入し、検診データ、予防接種等の管理を行った。	○	A	2-1-1-1 (P49)	2-4-30
2 健康づくり事業	25,203	1. 健康手帳を交付した。交付者数 250人	○	B	-	-
		2. 健康相談を実施した。 健診後健康相談 11回 延べ76人 健診結果説明会 5回 136人	○	A	2-1-1-1 (P49)	1-6
		3. 健康教育教室、講座を開催した。 食生活改善推進員との協働で生活習慣病の料理教室や栄養教室の開催 16回 延べ287人 食生活改善推進委員養成講座 1クール6回 78人 女性のための健康講座 6回 82人 生活習慣病予防教室 4回 健康づくり講演会 125人	○	B	2-1-1-1 (P49)	1-18
		4. 健康づくりを推進した。 健康しあわせ委員会を月1回開催し、健康しあわせ委員に出来ることを検討し実践した。また、地域の健康づくりにも取り組んだ。14地区	○	A	2-1-1-1 (P49)	1-18

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
2 前ページ続	前ページ続	5. 各種がん検診(健診)を実施した。 健診希望調査…対象者数 9,107件 返信者数 4,090件(返信率44.9%) 【受信者数】 肺がん 684人受診 胃がん 630人受診 大腸がん 845人受診 子宮がん 1,040人受診 乳がん 1,056人受診 肝炎ウイルス検診 86人受診 30歳代健康診査 115人	△	B	2-1-1-2 (P50)	1-6
		6. 生活保護受給者に対して健康診査を実施した。 対象者数 26人 受診者数 5人	○	B	2-1-1-2 (P50)	-
		7. 歯周疾患検診、高齢者口腔総合健康診査を実施した。 歯周疾患検診 51件 高齢者口腔総合健康診査 8件	△	C	2-1-1-2 (P50)	-
3 母子保健事業	18,999	乳幼児と母親を対象に、健全な発育と母親のかかわりなどについて医師等による健診、保健師による各種教室を開催し母親の子育て支援を行った。 1. 母子健康手帳の交付 交付人数 130人 2. 妊婦歯科健診の実施 受診者数 45人 3. 妊婦健診…妊娠中に14回の健診を実施し異常の早期発見と健康の保持を図った。 延べ1,422人受診 4. 4ヶ月、10ヶ月乳児の健康診査を行い異常の早期発見と健康の保持を図った。 延べ260人受診 5. 1歳6ヶ月健診を実施し、運動機能、視聴覚などの障害、精神発達の遅滞などの障害を持った幼児の早期発見及び適切な指導に努めた。 6回延べ124人 6. 3歳児健診を実施し、視聴覚などの障がい、精神発達の遅滞などの障がいを持った幼児の早期発見及び適切な指導に努めた。 6回延べ129人 7. 1歳6ヶ月健診で発達に遅れのある児に対して発達を促す遊びなどを取り入れた教室を実施した。 12回延べ91人 8. 保育所入所前の親子を対象に乳幼児相談、7カ月児相談などを実施した。 36回 延べ548人 9. 虫歯が急増する乳幼児期に歯科医師による講義、フッ素塗布、ブラッシング指導を行う歯つばい教室・保育所においてフッ素洗口事業を実施し、歯科保健の強化を図った。 4回 延べ84人(歯つばい教室) 保育所4園 延べ286人(フッ素洗口) 5歳児歯科保健教室 4回 延べ140人 10. 乳幼児に対し離乳食の進め方や幼児期の食生活について教室を実施した。 10回 延べ200人	○	B	1-1-2-1 1-1-2-3 (P25)	-
4 予防接種事業	42,320	・定期予防接種を医療機関に委託して実施した。 不活化ポリオ、四種混合、三種混合、二種混合、MR(麻しん・風しん混合ワクチン)、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、日本脳炎、BCG、子宮頸がんワクチン、水痘、高齢者肺炎球菌ワクチン、高齢者インフルエンザ ・任意予防接種に対して補助を実施した。 高齢者肺炎球菌 39件 乳幼児インフルエンザ 518件 水痘 11件 おたふくかぜ 58件 風しん 6件	○	B	1-1-2-4 (P26)	1-6

款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 3 環境衛生費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	46,994	68,789
決算額	41,674	49,967

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,796	581		13,221	34,369
	1,092	1,748		11,417	27,417

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 環境衛生事業	6,076	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境保全のために不法投棄物の回収処分を行った。 73千円(家電4品目16件 タイヤ48本) ・生活環境の確保、美化意識の高揚を図ることを目的にごみ集積所の補助を行った。 5地区 6ヶ所 395千円 ・捨て犬・捨て猫を防止し、適正飼育を図るため、不妊手術に対して補助を行った。 95件 175千円 ・地球温暖化対策の取組みとして家庭用太陽光発電システム設置に補助を行った。49件 2,940千円 ・伊勢広域環境組合で処理不能な産業廃棄物系ごみの適正処理を行った。 3件 131千円 ・自治区の墓地整備事業に補助を行った。1地区 38千円 ・一般廃棄物処理計画の経年見直し作業の委託を行なった。 1,812千円 ・生活排水処理計画の経年見直し作業を行なった。 ・花いっぱい運動としてボランティア団体により田丸駅前・田丸大橋横他に花を植えていただく美化運動を行なった。101千円 (年2回実施:9団体 述べ約60名参加) 	○	A	4-2-1-2 4-2-1-4 4-2-1-5 (P105,106) 4-2-3-1 (P109)	1-②-24 (P42) 1-③-25 (P43) 1-④-33 (P44) 1-③-37 (P43) (P43)
2 中角ごみ処理場経費	7,730	<ul style="list-style-type: none"> ・投棄場跡地管理のため草刈業務委託を行った。198千円 ・投棄場跡地利用のため、造成工事測量調査設計を委託した。 ・H18年用地取得に係る借入償還金。 元金 1,928千円 利子 73千円 ・造成計画の基礎資料として廃棄物の埋戻状況を把握するためボーリングによる試掘調査を行った。1,928千円 	●	C	4-2-2-1 (P107)	-
3 合併浄化槽事業	5,890	<p>公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、小型合併処理浄化槽の設置に対して補助を行った。 17基 5,890千円</p>	○	A	4-2-2-4 (P108)	-

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
4 ごみ減量化促進対策事業	30,271	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会・PTA等再生資源集団回収事業推進団体に登録された団体に対し、回収量に応じ奨励金を交付し、ごみの減量・資源化を図った。 登録団体8団体 延べ 20件 450千円 3円/1kg 回収量 紙類 142.6トﾝ 布類 3.1トﾝ アルミ 4.4トﾝ ・生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、生ごみ処理機等購入設置した世帯に補助を行った。 生ごみ処理機 4件 43千円 補助率1/2 20,000円上限 生ごみ処理容器 2件 3千円 補助率1/2 2,000円上限 ・町指定ごみ袋(可燃大・小 その他プラ)の購入を行った。 6,148千円 ・町指定ごみ袋を販売協力店に納品するため、卸店に販売取りまとめ業務を委託した。 890千円 ・ごみの減量及び環境教育の一環として、玉城中学校に生ごみ処理機を設置した。 2,678千円 ・ごみ分別表を作成し各戸に配布を行なった。 231千円 ・資源ごみの収集を町内2業者に委託した。 古紙・布類 6,178千円 陶磁器・ガラスくずビン 4,665千円 蛍光管・鏡 622千円 その他プラスチック類 5,292千円 ペットボトル 2,592千円 	○	A	4-2-2-2 4-2-2-3 (P108)	1-③-25 (P43) 2-⑤-36 (P52)

款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 4 公害対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	184	297
決算額	184	296

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年				296
前年				184

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 公害対策事業	296	<ul style="list-style-type: none"> ・公共水域の環境監視のために、水質調査を実施し、適正な水質管理に努めた。 外城田川、相合川、牛尾崎池など11ヶ所を、年2回の水質検査を実施した。 151千円 ・養豚場から発生する臭気測定を実施した。 145千円 	○	A	4-1-1-3 4-2-1-3 (P98,105)	1-⑤-9 (P46)

款 5 労働費 項 1 労働諸費 目 1 労働諸費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	74,264	16,531
決算額	69,894	16,531

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年			15,500	1,031
前年	52,405		15,500	1,989

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 労働諸費	16,531	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業従業員の福利厚生を高めるため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターへの加入促進及び支援、自治体協調融資(勤労者住宅・教育資金)を実施した。 	◎	A	3-2-1-1 (P92)	-

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 1 農業委員会費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	3,713	4,544
決算額	3,173	4,227

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		799		7	3,421
		255		7	2,911

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 農業委員会経費	4,227	・毎月1回総会を開催し、農地法許可事務(3条19件、4条7件、5条46件)を行ったほか、農地法30条の規定に基づく農地利用状況調査を実施し、農地の適正利用について広報を利用し所有者へ案内をした。また、「人・農地プラン」作成のため前年度整備した農地地図情報を利用した。	○	A	3-1-1-2 (P82)	-

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 2 農業総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	58,753	61,079
決算額	58,294	60,558

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		3,199		241	57,118
		3,138		242	54,914

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 農業総務経費	20,874	・伊勢地域農業共済事務組合負担金 18,636千円、生産調整達成成分を含む集落育成交付金2,238千円等を支出した。	○	A	3-1-1-1 (P81)	1-②-30 (P42)

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 3 農業振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	21,564	81,486
決算額	19,760	80,209

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		52,102			28,107
		5,750			14,010

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 農業振興経費	76,381	・営農振興事業として、伊勢農業協同組合に1,095千円を補助、農業活性化対策事業交付金(麦・大豆の本作化に取り組む担い手補助)12,410千円を交付、担い手育成対策として新規就農者支援(青年就農給付金)として9,000千円を支出した。また、集落地域が抱える農地の問題を解決するため、「人・農地プラン」を作成した。 平成26年2月の大雪により倒壊した農業用施設を撤去・再建し、営農の継続を図るため農業者に補助を行った(53,792千円)。	○	B	3-1-1-1 (P81)	1-④-42 (P45) 2-③-13 (P49)
2 農業振興地域整備計画事業	457	・一般管理で変更を協議した。(除外1件) ・玉城町農業振興地域図面データ作成業務委託料	○	A	3-1-1-5 (P83)	-
3 経営所得安定対策推進事業	2,033	・農業者戸別所得補償制度の周知と加入推進のためのパンフレット等の配布のほか、制度の実施に伴う事務を行った。加入者は288戸となった。	○	A	3-1-1-5 (P83)	2-③-13 (P49)
4 地産地消推進事業	1,338	・「学校給食地産地消推進事業」を実施し、地場農畜産物の利用拡大に努めた(9~1月 7回)。 ・産業振興フェア(玉城フェア)において地場農産物のPRを行った。	○	A	3-1-1-4 (P83)	-

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 4 畜産振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	641	545
決算額	390	286

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
					390

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 畜産振興経費	225	・松阪肉牛共進会負担金 ・株式会社三重県松阪食肉公社施設整備支援負担金	○	A	3-1-1-3 (P82)	-
2 畜産振興対策事業	61	・松阪肉牛共進会出品報償金(4頭分)を交付し、松阪牛の振興を図った。	○	A	3-1-1-3 (P82)	-

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 5 農地費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,488,217	68,156
決算額	1,479,244	67,233

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		49,503	23,128	805,300	3,000

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 県単土地基盤整備事業	9,778	・岩出字城排水路設置工事、岩出字城追加擁壁工事	○	A	3-1-1-5 (P83)	1-④-15 (P44)
2 町単農道整備事業	1,473	・中角地内農道法面修繕工事、中角地内排水路法面修繕工事、岩出地内農地法面修繕工事、岡村地内排水路法面修繕工事、田宮寺地内排水路法面修繕工事	○	A	3-1-1-5 (P83)	1-④-15 (P44)
3 県営関連事業	28,488	・県営農道保全対策事業計画策定業務委託料(6,804千円)、経営体育成基盤整備事業(8,174千円)、県営かんがい排水事業(5,344千円) 県営基幹農道整備保全対策事業(8,166千円)に係る負担金であり、各事業とも営農の向上、農業基盤の充実を図った。	○	A	3-1-1-5 (P83)	1-④-15 (P44)
4 土地改良区等補助金事業	8,259	・土地改良区・自治区・地域団体の実施する農業施設改修事業(6件)、活動(1件)に対し補助金を交付し、施設の保全と営農の向上を図った。	○	A	3-1-1-5 (P83)	2-③-14 (P49)
6 農地水環境保全向上対策事業	13,959	・農地・水・環境保全活動を実施する活動組織(20組織)に対する負担金を支出し、32集落(1,348ha)と協定を締結するとともに、農地・農業用水等の資源や環境の保全と長寿命化を図った。	◎	A	3-1-1-5 (P83)	1-②-30 (P42) 1-④-41 (P45) 1-④-15 (P44)

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 農業体験学習施設整備事業	2,617	下外城田保育所横に農業体験学習施設を整備するための測量調査及び整備工事を行った。	○	B	3-1-1-4	-

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 6 地域農政推進事業費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	785	674
決算額	768	673

本年 前年	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
					673

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 農業経営基盤対策事業	673	・認定農業者の資金借入(制度資金)にかかる利子助成を実施した。	○	A	3-1-1-1 (P81)	-

款 6 農林水産費 項 1 農業費 目 7 農業集落排水事業費

(単位:千円)

	前年度	本年度	決算額の財源内訳				
予算現額	49,293	52,255	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
決算額	48,000	52,000					52,000
							48,000

上下水道課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 農業集落排水事業繰出金	52,000	農業集落排水事業は3地区が供用開始しており、本年度は一般会計より52,000千円の繰出しを行い処理場の維持管理や起債の償還を行った。	○	A	4-2-4-4 公-6 (P112・135)	2-⑥-42 (P53)

款 6 農林水産費 項 2 林業費 目 1 林業振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度	決算額の財源内訳				
予算現額	922	3,800	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
決算額	816	3,718		2,845			873
							816

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 有害鳥獣対策事業費	542	・有害鳥獣捕獲委託(イノシシ13頭、シカ6頭、カラス類146羽等)を行い農産物等への被害防止を図った。 ・鳥獣害被害防止協議会から猟友会へ罠檻を貸し出し、鳥獣被害を軽減した。	○	A	3-1-1-6 (P84)	-

款 7 商工費 項 1 商工費 目 2 商工振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度	決算額の財源内訳				
予算現額	82,790	135,158	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
決算額	74,127	134,302		5,548		11,648	117,106
				2,656		646	70,825

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 商工振興経費	134,302	<p>[商工振興]</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急保証認定を行い、中小企業の円滑な資金繰りを支援した・・・4件 (H22:32件、H23:11件、H24:9件、H25:11件、H26:4件) 町商工会に補助金(9,451千円)を交付するとともに、積極的な情報共有を通じ商工業の振興を支援した。 ふるさと応援寄付者(12,520件(H25年度申込者分含む))に対しふるさと特産品を進呈し、町内特産品の振興とPRIに努めた。 <p>[企業誘致]</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢志摩地域産業活性化協議会(伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢・度会・玉城)で策定した基本計画に基づき、企業誘致を推進した。 2/3に大阪帝国ホテルで企業立地セミナーを開催した。 <p>[観光・地域振興]</p> <p>○観光</p> <ul style="list-style-type: none"> 玉城観光まちづくり協会を通じ、地場産品販売処「城(グスク)」の運営支援および誘客促進を行った。 4/7桜まつりを開催。またH27.4開催に向け実行委員の公募を行ったが応募者なし。 11/15~16玉城フェア2014を開催。産業フェア、サニー市、にぎわい市、熊野古道写真展など地域振興の総合イベントとして実施し、23,000人の参加者に玉城の魅力を発信した。 <p><次ページへ></p>	◎	A	3-1-1-3 (P82) 3-1-1-7 (P84) 3-1-2-1 (P86) 3-1-2-2 (P86) 3-1-2-3 (P87) 3-1-2-4 (P87) 3-1-3-1 (P89) 3-1-3-2 (P89) 3-1-3-3 (P89) 3-1-3-4 (P90)	1-③-3 (P42) 1-⑤-4 (P45) 1-⑤-16 (P46) 1-⑤-39 (P46) 2-⑦-46 (P53)

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
前ページ続	前ページ続	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会との連携協力により『田丸城イルミネーション』(12/6~1/31)を実施。 ・サニーロード誘客促進事業(玉城町、度会町、南伊勢町)を実施し、ガイドマップ、ノベルティの作成した。また沿線3町の物産市「サニー市」を開催した。 ・平成26年度に熊野古道伊勢路が世界遺産登録10周年を迎えたことから、沿線市町と記念事業の実施に向け検討を行った。 ・三重県観光キャンペーンや伊勢志摩観光コンベンション機構等と連携し、関空、刈谷ハイウェイオアシス、名古屋久屋大通(ふるさと全国県人会まつり)等で観光PRを行った。 ・上記のほか、情報提供、撮影招致、取材協力などを積極的に行った。 ・美し国おこし・三重事業として、座談会の開催、グループ活動の支援、イベントへの出展などを行った。H26事業終了(H26末現在11グループ) <p>○地域振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮川流域ルネッサンス事業の一環として、宮川流域子ども川サミットIN玉城へ参加した。(宮川流域案内人登録者 20人) ・山村振興事業特別会計への繰出金(28,622千円)により、アスピア玉城の管理運営を支援した。 	前ページ続	前ページ続	前ページ続	前ページ続

款 7 商工費 項 1 商工費 目 3 消費者保護推進費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	821	832
決算額	774	832

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年		568			264
前年		528			246

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 消費者保護経費	832	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者行政活性化基金を活用し、平成23年7月から消費生活専門相談員を配置し、相談体制を整備した。 ・相談件数33件(助言29件・多重債務4件) ・三重県消費者啓発地域リーダーと自主活動を行った。 ・悪徳商法や振込み詐欺を未然に防ぐため、パンフレット(2種類)やウエットティッシュを配布し啓発に努めた。 ・広報誌「よくわかる消費生活相談」コーナーを設け、最近の消費に関する情報を掲載した。(12回) ・ケーブルテレビ「消費生活安心ガイド」コーナーを設け、相談員が消費者問題を呼びかけた。(12回) ・イベント会場等で啓発活動を行った。(11ヶ所) ・玉城フェアで消費生活啓発パネルの展示を行い啓発を図った。 ・出前講座を2回実施した。(栄町・勝田町) 	◎	A	2-3-5-1 2-3-5-2 (P78)	1-②-2 (P40)

款 8 土木費 項 1 土木管理費 目 1 土木総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	34,165	24,931
決算額	34,052	24,879

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年				4,540	20,339
前年				3,320	30,732

建設課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 道路台帳更新業務	1,275	<p>工事等で変更のあった箇所の道路台帳更新を実施した。27箇所※スケールメリットを活用するため、上下水道台帳等と併せて発注、按分支払いとした</p>	◎	A	4-3-2-2 (P116)	—

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
2 境界立会データ更新業務	212	境界立会箇所のデータをPC上で管理するために更新を実施した。 43箇所 ※スケールメリットを活用するため、上下水道台帳等と併せて発注、按分支払いとした	◎	A	4-3-2-2 (P116)	—
3 開発箇所地形図データ更新業務	179	開発行為により地形の変更があった箇所のデータ更新を実施した。 5箇所 ※スケールメリットを活用するため、上下水道台帳等と併せて発注、按分支払いとした	◎	A	4-3-1-2 4-3-1-3 4-3-1-4 (P113)	1-①-1 (P39) 1-④-38 (P45)

款 8 土木費 項 2 道路橋梁費 目 2 道路維持修繕費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額		125,330
決算額		120,474

※決算額には前年度からの繰越を含む

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,405	113,069

建設課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 道路維持修繕事業	111,090	住民生活に密着した生活環境基盤整備として、町道の整備および小規模修繕を実施した。 〈概要〉 側溝改修 21路線 小規模修繕 38箇所	○	B	4-3-2-3 (P116)	1-④-34 (P44)
2 生活道補修等補助業務	3,843	現場職員の作業補助をシルバー人材センターに委託した。 〈概要〉 除草作業、道路反射鏡・防護柵等の設置および補修ほか	○	A	4-3-2-3 (P116)	1-④-34 (P44)

款 8 土木費 項 2 土木管理費 目 3 道路新設改良費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	263,534	176,698
決算額	210,855	162,105

※決算額には前年度からの繰越を含む

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
27,940		19,800		114,365
		2,800	57,753	150,302

建設課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 町単事業	92,223	道路の改良を行うことにより、道路機能の充実、住民生活基盤の整備を推進した。 〈概要〉 道路改良 3路線 橋梁耐震 2橋 測量調査設計、登記事務、公有財産購入、支障物件補償ほか	◎	A	2-3-3-2 (P74) 4-3-2-1 4-3-2-3 (P116)	1-④-34 (P44)
2 防災安全交付金事業	68,148	交付金対象となる路線において、道路改築・交通安全・橋梁修繕・道路の路面性状調査を実施した。 〈概要〉 ・田丸土羽線道路改良工事 ・中樂朝久田線道路改良工事 ・蚊野積良線交通安全施設設置工事 ・妙法寺橋ほか2長寿命化改修工事(積算業務を含む) ・玉城町道路ストック総点検業務(道路付属物点検・解析)	◎	A	2-3-3-2 (p74) 4-3-2-1 4-3-2-2 4-3-2-3 (P116)	1-④-34 (P44)

款 8 土木費 項 3 河川費 目 1 河川総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	11,122	14,659
決算額	11,008	12,754

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,000	11,754
本年			1,000	10,008
前年				

建設課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 河川維持修繕事業	12,673	町が管理する準用河川を中心に、河川の機能維持を実施した。 また、宮川において「川と海のクリーン作戦」を実施した。 〈概要〉 除草業務 外城田川、三郷川、相合川、汁谷川ほか 浚渫・伐木 外城田川ほか 管理委託 外城田川(3団体)	○	A	2-3-1-4 (P69) 4-1-1-2 (P96)	1-②-13 (P41)
2 下排水補助事業	0	自治区が主体となって実施する下排水事業に対して補助を行う。 ※H26の実績なし	△	C	—	—

款 8 土木費 項 4 都市計画費 目 1 都市計画総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	17,079	18,053
決算額	16,998	17,993

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,689		404	11,900
本年	4,999		188	11,811
前年				

建設課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 都市計画事業	364	都市計画に関する案件の審議および関連する事務を実施した。 〈概要〉 都市計画案件 特記事項なし 開発行為 3件	○	A	4-3-1-2 4-3-1-3 4-3-1-4 (P113)	1-①-1 (P39) 1-④-38 (P45)
2 公園事業	1,322	町管理の公園を適正に維持するために、遊具点検等を実施した。 自治区管理の公園遊具の改善等について、補助を実施した。 〈概要〉 公園遊具保守点検 一式 遊具修繕等補助 8自治区	○	A	4-3-5-1 (P123)	—
3 地籍調査事業	7,603	新田町・妙法寺地区においてH22より地籍調査を開始し、26年度では第③地区、第④地区の業務を実施した。 〈概要〉 新田町・妙法寺地区④(0.08km ²) E2・F・G工程(一筆地調査・測量) 新田町・妙法寺地区③(0.12km ²) H工程(地籍図・地籍簿の作成、閲覧)	○	A	4-3-1-1 (P114)	—

款 8 土木費 項 5 住宅費 目 1 住宅管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	16,508	9,015
決算額	14,611	8,424

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
370	185		7,547	322
本年	2,770	2,542	6,827	2,472
前年				

建設課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 維持補修事業	1,064	町営住宅の老朽箇所(主に浴槽)の修繕を中心に、維持管理を実施した。 〈概要〉 城東団地浴槽交換 2戸 城東団地乗入箇所補修 一式 老朽箇所修繕 高架水槽清掃	○	B	4-3-4-3 (P120)	—

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
木造住宅耐震診断・補強事業 2	876	住宅所有者に、耐震についての情報提供を行い、希望者には耐震化のための補助を実施した。 〈概要〉 木造耐震診断 16戸 ※累計258戸(15年度から実施) 耐震促進啓発(町内全域) 1262戸 耐震補強関係 補助申請なし	○	B	2-3-1-4 (P69) 4-3-4-4 (P120)	1-②-13 (P41)

款 9 消防費 項 1 消防費 目 1 常備消防費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	208,513	243,040
決算額	208,419	243,023

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				243,023
本年				208,419
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
広域消防委託経費 1	242,619	・消防活動、救急活動を伊勢市消防本部へ委託し、消防防災の維持・安定を図った。	○	A	2-3-2-3 (P72)	-
玉城出張所改修事業 2	389	・玉城出張所施設設備の老朽化に伴い改修を行った。	○	A	2-3-2-3 (P72)	-

款 9 消防費 項 1 消防費 目 2 非常備消防費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	13,032	12,364
決算額	12,344	11,672

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,323	10,349
本年			735	11,609
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
非常備消防経費 1	11,672	・町消防団活動による地域防災の強化を促進し、その充実を図った。	○	A	2-3-2-3 (P72)	1-③-26 (P43)

款 9 消防費 項 1 消防費 目 3 消防施設費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,420	1,386
決算額	1,283	860

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				860
本年				1,283
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
地区消防施設整備維持経費 1	372	・自衛消防組織をもつ16地区に消防施設維持費として補助し、その充実を図った。	○	A	2-3-2-4 (P72)	1-③-26 (P43)
集落自衛消防機械器具等購入補助経費 2	488	・各自治区にある消防ボックス、ホース等の購入経費の一部を補助し地域防災の強化を促進し、その充実を図った。(対象地区 17地区)	○	A	2-3-2-4 (P72)	1-③-26 (P43)

款 9 消防費 項 1 消防費 目 5 災害対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	74,768	17,300
決算額	71,062	15,292

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			500	14,792
本年	187	56,100		14,775
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 有線放送施設撤去事業	1,882	・防災無線の導入により不要となった有線放送の鋼管柱等の撤去を行った。 6地区	○	A	2-3-1-2 2-3-1-3 (P68・69)	-
2 防災行政無線個別受信機設置事業	424	・転入世帯に役場親局からの情報を無線により直接受信できる個別受信機の設置を行った。 アンテナ有り 7箇所 アンテナ無し 53箇所	○	A	2-3-1-2 2-3-1-3 (P68・69)	-

款 9 消防費 項 1 消防費 目 6 防災対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	3,396	11,260
決算額	3,045	10,035

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,138		1,000	6,897
本年				3,045
前年				

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 自主防災資機材等整備費補助経費	212	・自主防災組織等が防災倉庫、資機材、備蓄食料等を購入する際、購入経費の一部を補助することで、地域防災の強化を図った。(対象地区 12地区)	○	A	2-3-1-2 2-3-1-3 (P68・69)	-
2 地域防災計画策改訂業務	4,406	地域防災計画の見直しを行い、問題点の洗い出しとその強化を図った。 H26～H27(2か年事業)	●	A	2-3-1-2 2-3-1-3 (P68・69)	-
3 防災マップ作成業務	2,300	防災マップを作成し、町内全戸へ配布して、地域防災意識の高揚を図った。	○	A	2-3-1-2 2-3-1-3 (P68・69)	-

款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 2 事務局費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	45,118	48,682
決算額	44,819	47,893

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16			98	47,779
本年	43		8	44,768
前年				

教育委員会

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 度会郡指導主事共同設置事業	7,042	度会郡内各教育委員会が費用負担を行い、2名の指導主事を配置し、児童生徒の学力向上並びに教職員の指導力向上に資するため、研修指導等の支援を行った。	○	A	1-2-2-1 (P30)	-

款 10 教育費 項 1 教育総務費 目 3 教育指導費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	4,327	10,344
決算額	4,273	10,236

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
750	3,000		1,000	5,486
	150			4,123

教育委員会

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 教育指導ALT費	4,428	町内小中学校5校と保育所で、ALTが担任・英語教員の助手として外国語指導にあたり、園児・児童・生徒への英語への関心を深め、国際理解の観点から国際化の推進を図った。	○	A	1-2-2-2 (P30)	-
2 英語コミュニケーション能力向上事業	5,046	英語コミュニケーション能力の素地を養うことを目的に、「聞くこと」「話すこと」を中心に、3年生以上に週1回の英語授業(フォニックス指導)に取組んだ。 子どもたちは、とても楽しく意欲的に取組むとともに、教職員の英語指導技術、指導法の向上に繋がった。	○	A	1-2-2-2 (P30)	-
3 人権教育総合推進事業	762	保育所、学校、保護者及び地域が一体となり人権教育の総合的な取組みを推進し、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高めました。また、子どもたちの発達段階に応じた9年間のカリキュラムを作成した。そのことにより人権教育での指導視点が明確となりました。	○	A	1-2-2-4 (P30)	-

款 10 教育費 項 2 小学校費 目 1 学校管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	201,966	249,584
決算額	187,386	238,857

※決算額には前年度からの繰越を含む

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
40,061		49,700	13,857	135,239
36,907	1,328	10,100	4,791	134,260

教育委員会

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 学習支援員等配置事業	13,044	特別支援教育の充実に資するための学習支援員6人を雇用し、きめ細やかな教育に取組むとともに、少人数学習指導に資するため非常勤講師4人を雇用し、基礎学力の向上を図った。	○	A	1-2-2-1 1-2-2-3 (P30)	-
2 小学校学校給食業務委託事業	33,279	4小学校全ての給食調理業務を民間委託した。	○	A	1-2-2-5 公5 (P31・134)	2-①-1 2-⑥-42 (P47・53)
3 下外城田小学校(講堂)空調防音事業	22,097	防衛施設周辺防音事業補助金(6.5/10)を受け、下外城田小学校(講堂)空調防音工事を完了した。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-
4 田丸小学校(講堂)吊り天井脱落対策工事	31,191	学校施設環境改善交付金(文部科学省)の交付金(1/3)を受け、田丸小学校(講堂)吊り天井脱落対策工事を完了した。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-
5 外城田小学校(講堂)吊り天井脱落対策工事	18,209	学校施設環境改善交付金(文部科学省)の交付金(1/3)を受け、外城田小学校(講堂)吊り天井脱落対策工事を完了した。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-
6 有田小学校(講堂)吊り天井脱落対策工事	19,242	学校施設環境改善交付金(文部科学省)の交付金(1/3)を受け、有田小学校(講堂)吊り天井脱落対策工事を完了した。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
7 小学校(講堂)防災機能強化工事の実施設計	861	平成27年度に計画している下外城田小学校(講堂)の吊り天井脱落対策工事の実施設計を完了した。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-
8 小学校校舎等防水補修工事	12,614	有田小学校校舎、外城田小学校講堂及び下外城田小学校講堂の防水補修工事を完了した。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-
9 学校施設補修工事	5,449	各小学校施設の校舎及び講堂の補修及び復旧等施設整備を行った。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-
10 学校給食設備整備	4,912	外城田小学校、有田小学校及び下外城田小学校の各給食室にガススチームコンベクションオーブンを新規導入した。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-

款 10 教育費 項 2 小学校費 目 2 教育振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	11,108	9,897
決算額	10,580	9,709

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年	598			1,025	8,086
前年	918				9,662

教育委員会

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 社会科副読本の発行	1,039	小学校3, 4年生が社会科の授業で玉城町の学習をするための副読本「わたしたちの玉城町」を編集、発行した。(1,000部発行、H27~H30年まで使用)	○	A	1-2-2-1 (P30)	-
2 理科教育備品の整備	932	理科教育設備整備費等補助金(文部科学省)の補助金(1/2以内)を受け、各小学校の算数、理科に関する教育を実施するための設備の充実を図った。	○	A	1-2-2-1 1-2-2-5 (P30・31)	-

款 10 教育費 項 3 中学校費 目 1 学校管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	55,893	63,886
決算額	50,891	61,703

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年	1,555			7,935	52,213
前年	1,656	331		1,632	47,272

※決算額には前年度からの繰越を含む

教育委員会

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 学習支援員等配置事業	3,669	特別支援教育の充実に資するための学習支援員2人を雇用し、きめ細やかな教育に取り組むとともに、少人数学習指導に資するため非常勤講師1人を雇用し、基礎学力の向上を図った。	○	A	1-2-2-1 1-2-2-3 (P30)	-
2 中学校給食業務委託	16,044	中学校の給食調理業務を民間委託した。	○	A	1-2-2-5 公5 (P31・134)	2-①-1 2-⑥-42 (P47・53)
3 中学校防球ネット設置工事	6,480	中学校運動場東側及び南側に防球ネットを設置した。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
4 中学校(講堂、武道場)防災機能強化工事の実施設計	1,796	平成27年度に計画している玉城中学校講堂及び武道場の吊り天井脱落対策工事の実施設計を完了した。	○	A	1-2-2-5 (P31)	-

款 10 教育費 項 3 中学校費 目 2 教育振興費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	9,852	10,896
決算額	9,505	9,875

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
362			1,800	7,713
914				8,591

教育委員会

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 理科教育備品の整備	643	理科教育設備整備費等補助金(文部科学省)の補助金(1/2以内)を受け、中学校の理科に関する教育を実施するための設備の充実を図った	○	A	1-2-2-1 1-2-2-5 (P30・31)	-

款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 1 社会教育総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	31,656	31,202
決算額	31,257	31,001

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	219		300	30,482
	142			31,115

教育委員会

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 各種社会教育事業	3,879	・生涯学習講座を実施し、多数の参加が図られた。 高齢者学級 8回開講 受講生86名 幼児学級 参加者274名	○	B	1-3-2-1 (P40)	1-②-7 1-③-3 1-⑤-36 (P40・46)
		・自主運営の成人式とし、135名が出席した。(対象者201名 出席率67.2%)	○	B	1-3-2-1 (P40)	-
		・社会教育関係団体への補助金を交付した。(5団体)	○	A	1-3-1-1 (P38)	1-③-3 (P42)
		・ふるさとコンサート・講演を開催した。 サマーコンサート (入場者238名) ふるさとコンサート (入場者595名) 愛と絆のコンサート (入場者247名) ふるさと講演会 (入場者509名) 玉丸城太鼓コンサート(入場者315名)	◎	A	1-3-1-2 (P38)	1-③-3 (P42)

款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 2 公民館費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	7,037	4,797
決算額	6,725	4,732

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,313	3,419
			1,008	5,717

教育委員会

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 公民館講座事業	1,526	・書道、洋裁等趣味・教養講座12講座を開講。受講者145名 講座卒業者は、それぞれ自主サークルを運営している。	●	A	1-3-2-2 (P40)	1-③-3 (P42)
2 図書館経費	3,089	・図書館の整理・図書の実施を行った。 新規図書購入419冊 図書貸出冊数15,667冊(H27目標:7,000冊)	◎	A	1-3-2-4 (P41)	-

款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 3 文化財費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	39,454	16,770
決算額	34,412	15,505

※決算額には前年度からの繰越を含む

教育委員会

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		1,300	2,100	12,105
本年				
前年	3,800	19,800	2,000	8,812

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 文化財経費	10,447	<ul style="list-style-type: none"> ・町のシンボルである、城山の管理・保全に努めた。(除草、枯木伐採等) ・伝統文化を再興し、舞の監修・歌の解説に取り組んだ。(鳥名子舞) ・玄甲舎の所有権移転を実施した。 ・文化伝統保存団体に補助金を交付した。(3団体) 	○	A	4-1-3-2 4-1-3-3 4-1-3-5 (P102・103)	1-③-37 2-⑥-43 (P43・53)
2 田丸城跡関連整備事業	4,946	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査に係る報告書を作成した。 ・田丸城跡石垣カルテを作成した。 	○	A	4-1-3-2 (P102)	-
3 村山龍平記念館記念事業	82	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回(春・秋)の特別展を開催した。入場者数963名 	○	A	1-3-1-2 (P38)	-

款 10 教育費 項 4 社会教育費 目 5 青少年対策費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,360	1,351
決算額	1,227	1,177

教育委員会

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				1,177
本年				
前年				1,227

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 青少年対策事業	1,177	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年指導員協議会で、店舗立入調査実施。青色回転灯パトロールを実施した。第1・第3月・金曜日 ・子ども体験活動クラブ「ちやれ・たま」を実施し、子どもたちの居場所づくりを推進した。 ・地域親子会(17団体)、地域っ子づくり(玉城演劇愛好会)に助成金を交付した。 	○	A	1-2-3-1 1-2-3-2 1-3-1-2 (P33・38)	1-②-7 1-③-3 1-④-32 1-⑤-36 (P40・42・44・46)

款 10 教育費 項 5 保健体育費 目 1 保健体育総務費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	7,830	6,270
決算額	6,988	6,006

教育委員会

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,500	4,506
本年				
前年				6,988

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 保健体育事業	1,837	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ団体へ補助金を交付し、団体の育成を図った。(町体育協会・軽スポーツ団体) ・全国大会等出場選手・団体に補助を行った。(個人15名・団体1団体) ・美し国市町対抗駅伝大会に出場した。(総合の部16位、町の部5位) 	○	A	1-3-3-2 (P43)	1-③-3 (P42)
2 スポーツ推進委員事業	2,116	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進のため定期的にスポーツ推進委員会を開催した。 ・健康・体力づくりのた事業を実施し町民の健康増進に寄与した。 春のウォーキング 参加者 43名 初心者水泳教室(小学生) 参加者 93名 かんたん体力測定 参加者 25名 町民体育祭 参加者 約2,000名 田丸城跡健康マラソン大会 参加者 252名 	○	A	1-3-3-1 (P43)	1-③-3 (P42)

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
3 総合型地域スポーツクラブ育成事業	2,053	・「たまき文化スポーツクラブ」に補助を行うことにより、文化、スポーツの推進・健康づくりに寄与した。 会員数 522名	○	A	1-3-3-1 (P43)	1-③-3 (P42)

款 12 公債費 項 1 公債費 目 1 元金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	396,455	397,162
決算額	396,454	397,162

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年				5,178	391,984
前年					396,454

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 元金経費	397,162	・今年度の元金償還額は、前年度より70万8千円増となっている。 今年度の地方債発行額は、4億2,960万円である。 ・今年度発行の主なものは、臨時財政対策債3億1,200万円、全国防災債(建設工事等)4,290万円、公共事業等債(農林関係)1,890万円である。今後これらの据置期間が終了するため償還元金の増が見込まれる。	○	A	公-6 (P135)	2-⑤-38 2-⑤-39 (P52)

款 12 公債費 項 1 公債費 目 2 利子

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	73,657	70,648
決算額	55,124	52,038

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年				932	51,106
前年					55,124

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 利子経費	52,038	・前年度末の地方債の残高48億6,324万円に対する、利子経費である。	○	A	公-6 (P135)	2-⑤-38 2-⑤-39 (P52)

款 13 諸支出金 項 1 公営企業債 目 1 病院会計支出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	86,435	124,083
決算額	84,837	124,083

	決算額の財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年					124,083
前年					84,837

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 病院事業会計繰出金	124,083	玉城病院は公的医療機関として地域包括医療(ケア)を実践し地域住民の健康管理を担うという責務から、併設のケアハイツ玉城と連携を取りながら、医療・保健・福祉・介護の総合的、一体的なサービス提供を展開し、かつ、公共性・経済性の調和をめざして運営に努力しており、一般会計から負担金(101,667千円)、運営補助金(1,150千円)、建設改良負担金(3,510千円)、企業債償還元金負担金(17,756千円)として繰出しを行い、病院経営の安定化を図った。 平成26年度は、院長はじめ病院スタッフ一同努力を行い、業務量において外来予定量25,511人に対し実績28,281人、入院予定量17,538人に対し実績17,844人となった。 事業会計の決算として、収益的収支(税抜き)では一般会計繰出金を含む収入決算額684,097千円、支出決算額748,702千円で64,605千円の経常損失となり、資本的収支では一般会計繰出金を含む収入決算額21,266千円、支出決算額33,128千円となり、資本的収支に不足する額11,862千円は過年度分損益勘定留保資金で補填した。	◎	A	2-1-2-3 公-6 (P53・135)	2-⑥-42 (P53)

款 13 諸支出金 項 1 公営企業費 目 2 水道会計支出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,526	620
決算額	1,526	620

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				620
本年				
前年				1,526

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 水道事業会計繰出金	620	水道事業会計へ児童手当分120,000円,消火栓維持管理費500,000円の繰出しを行った。	○	A	公-6 (P135)	2-⑥-42 (P53)

款 13 諸支出金 項 1 公営企業費 目 3 介護老人保健事業会計支出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	19,065	18,245
決算額	19,065	18,245

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				18,245
本年				
前年				19,065

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 介護老人保健施設事業会計繰出金	18,182	<p>ケアハイツ玉城では、介護老人保健施設(長期・短期入所、通所リハビリ)、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援の事業運営を実施しており、一般会計から(8,380千円)、企業債償還元金補助金(9,802千円)の繰出しを行い、施設経営の安定を図った。また、利用者ニーズにより適応した介護サービスを効率的・計画的に提供し、在宅復帰、在宅生活の支援に努めた。</p> <p>平成26年度事業会計の決算として、収益的収支では一般会計繰出金を含む収入決算額360,006千円、支出決算額379,373千円で19,367千円の経常損失となりました。また、資本的収支では収入決算額9,802千円、支出決算額21,323千円となり、資本的収支に不足する額11,521千円は過年度分損益勘定留保資金で補填した。</p>	◎	A	2-1-2-3 公-6 (P53・135)	2-⑥-42 (P53)

款 13 諸支出金 項 1 公営企業費 目 4 公共下水道事業会計支出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	274,599	399,677
決算額	232,992	358,859

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				358,859
本年				
前年				232,992

※決算額には前年度からの繰越を含む

総務課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 公共下水道事業会計繰出金	358,859	<p>下水道事業は宮川流域関連下水道として社会資本整備総合交付金事業により整備し本年度は供用開始区域の拡大を行った。一般会計から358,859千円繰出しを行い、事業経営の安定と整備事業の推進を図った。また40,244千円を次年度分として繰越した。</p> <p>平成26年度事業会計の決算として、収益的収支では一般会計繰出金を含む収入決算額346,237千円、支出決算額455,477千円で108,877千円の経常損失と特別損失363千円と合わせて純損失は109,240千円となりました。また、資本的収支では収入決算額930,291千円、支出決算額939,161千円となった。</p>	○	A	4-2-4-6 公-6 (P112・P135)	2-⑥-42 (P53)

国民健康保険特別会計

款 2 保険給付費 項 1 療養諸費 目 1 一般被保険者療養給付費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	866,025	843,547
決算額	804,103	818,977

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
190,764	40,321		478,893	108,999
187,067	47,790		377,777	191,469

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
一般被保険者療養給付費	818,977	(1)1月当たり診療件数 4,549件【対前年比 100.7%】 (2)年度平均被保険者数 3,540人 (3)1人当たり医療費(費用額) 314,578円【対前年比 101.9%】	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 2 保険給付費 項 1 療養諸費 目 2 退職被保険者等療養給付費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	63,863	58,124
決算額	63,863	54,016

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			35,988	18,028
			39,906	23,957

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
退職被保険者療養給付費	54,016	(1)1月当たり診療件数 291件【対前年比 99.5%】 (2)年度平均被保険者数 217人 (3)1人当たり医療費(費用額) 347,634円【対前年比 87.1%】	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 2 保険給付費 項 1 療養諸費 目 3 一般被保険者療養費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	5,201	5,867
決算額	4,074	5,742

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,082	248			4,412
948	242		1,915	969

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
一般被保険者療養費	5,742	支給件数 870件	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 2 保険給付費 項 1 療養諸費 目 4 退職被保険者等療養費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	505	628
決算額	223	507

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			232	275
			139	84

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
退職被保険者等療養費	507	支給件数 37件	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 2 保険給付費 項 2 高額療養費 目 1 一般被保険者高額療養費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	117,209	115,207
決算額	99,938	100,371

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
26,147	5,413			68,811
23,250	5,940		50,660	20,088

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
一般被保険者高額療養費	100,371	支給件数 3,515件	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 2 保険給付費 項 2 高額療養費 目 2 退職被保険者等高額療養費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	8,551	14,537
決算額	8,551	12,211

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			10,875	1,336
本年			5,343	3,208
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
退職被保険者高額療養費	12,211	支給件数 126件	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 2 保険給付費 項 3 出産育児一時金

目 1 出産育児一時金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	6,720	7,140
決算額	5,880	7,140

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			4,760	2,380
本年			3,920	1,960
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
出産育児一時金	7,140	支給件数 17件 @420,000	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 2 保険給付費 項 4 葬祭費

目 1 葬祭費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	900	750
決算額	720	480

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				480
本年				720
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
葬祭費	480	支給件数 16件 @30,000	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 7 共同事業 項 1 共同事業 項 1 共同事業

目 1 高額医療費共同事業医療費拠出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	40,049	45,272
決算額	39,421	44,952

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			22,316	
本年	11,318	11,318		
前年	9,973	9,973	19,475	

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
高額医療費等共同事業医療費拠出金	44,952	医療費80万円以上にかかる高額療養費の共同事業への拠出金	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 7 共同事業 項 1 共同事業 項 1 共同事業

目 2 保険財政共同安定化事業拠出金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	143,334	243,671
決算額	141,877	243,670

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			243,670	
本年			141,877	
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
保険財政共同安定化事業拠出金	243,670	医療費2万円以上にかかる高額療養費の共同事業(県内)への拠出金	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 8 保健施設費 項 1 保健施設費 目 1 保健衛生普及費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,172	1,148
決算額	1,061	1,059

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			706	353
本年			707	354
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
保健衛生普及費	1,059	(1)優良家庭表彰(記念品贈呈) 54世帯 (2)医療費通知回数 2回(12ヵ月分) (3)ジェネリック医薬品差額通知 140件	○	A	2-2-4 (P66)	-

款 8 保健施設費 項 1 保健施設費 目 2 保健施設事業費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	12,360	12,883
決算額	12,360	12,882

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			8,589	4,293
本年			8,764	3,596
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
保健施設事業費	12,882	人間ドック受診者数 411人	○	A	2-2-4 (P66)	1-6

款 8 保健施設費 項 2 特定健康診査等事業費 目 1 特定健康診査等事業費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	13,544	14,169
決算額	13,065	13,986

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,580	2,607		5,884	2,915
本年	2,500	2,500	5,377	2,688
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
特定健康診査等事業	13,986	(1)特定健診 受診者数 1,332人 (2)保健指導 実施者数 70人	○	A	2-1-1-2 (P50)	1-6

山村振興事業特別会計

款 1 管理運営費 項 1 管理運営費 目 1 管理運営費

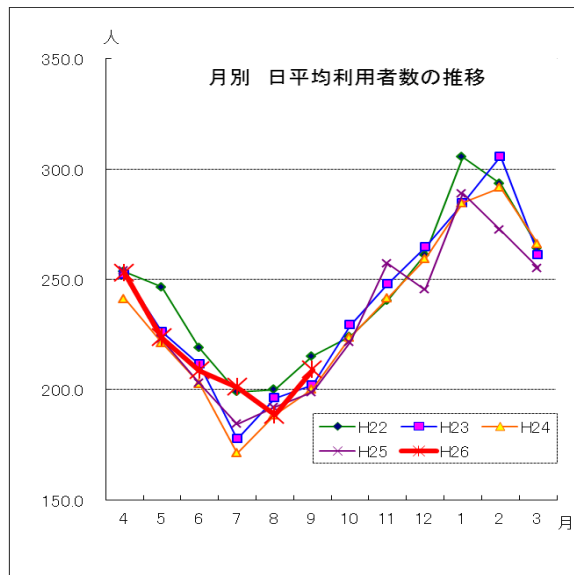
(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	53,211	56,444
決算額	51,366	54,947

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			28,621	26,326
本年			23,921	27,445
前年				

産業振興課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 ふれあいの館 管理事業費	52,006	<p>当施設は本年11月26日(いい風呂)で開業後18年を迎えた。利用者の状況については、近隣市町への類似施設の開設、施設の老朽化に加え、長引く景気の低迷、災害の影響等もあり、入浴者はここ数年、下降傾向である。また源泉量にも不安を抱えている。</p> <p>今年度の上半期は、各月とも順調に推移し入浴者33,531人(営業日:157日、日平均213.6人)、と前年比102%となっている。</p> <p>閉館時間の1時間延長(H20)、内装改修(H22)、公園・看板整備など、施設改修及び設備修繕を行い利便性の向上を図っている。またロビー内をギャラリーとして開放し、趣味のグループ等による展示や消費者保護啓発など地域に根ざした企画を展開している。利用者アンケート結果を踏まえ、町内利用者の促進を図るため各種キャンペーンを展開している。</p> <p>また、誘客のため、自主イベントの開催・招致、雑誌等への広告掲載(温泉博士、地域情報紙、観光三重など)、やホームページでのお知らせ、メディア等を活用した積極的なPRを実施し、更に恒例の夏祭り、秋まつりに加え、イベント風呂の実施やふるさと味工房アグリと連携したイベント実施など、施設のPRに努めている。</p> <p>23年度より県内公共温泉と連携し、三重の公共温泉「ゆら〜り 湯ラリー」を実施している。</p> <p>今後も、恵まれた泉質を利用し、源泉の効能などをさらに周知するとともに、地域と密着した施設として利用を促進し、隣接する「ふるさと味工房アグリ」の産直施設との相乗効果も併せて安定経営を図っていききたい。</p>	○	B	3-1-1-7 (P84)	-
2 アスピア玉城 管理事業費	1,941	<p>集客効果を高めるため、雑誌等へのPR掲載やホームページでPRを行った。</p> <p>公園内の除草、間伐、剪定、公園施設等景観整備を行い公園の快適性向上を図った。</p>	○	B	3-1-1-7 (P84)	-
3 諸イベント事業費	1,000	<p>恒例となっている夏祭り(6,000人)、秋まつり(2日間で7,000人)に加え、新たなイベントの開催・招致など、ふるさと味工房アグリと連携しながら、施設への集客、PRに努めた。またアスピア玉城を中心としたサイクリングイベントやモニターツアーを企画し、アスピア玉城の魅力を発信した。</p>	◎	A	3-1-1-7 (P84)	-



農業集落排水事業特別会計

款 1 農業集落排水事業 項 1 農業集落排水事業費 目 1 農業集落排水総務費(基金積立金)

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	249	210
決算額	167	132

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			108	24
			46	121

上下水道課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 農業集落排水総務経費	132	農業集落排水事業に係る総務的経費であり事業の推進を行った。また、基金利息の積み立てを行った。	○	A	公-6 (P135)	2-⑥-42 (P53)

款 1 農業集落排水事業 項 1 農業集落排水事業費 目 3 農業集落排水維持管理費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	23,313	23,049
決算額	22,338	22,704

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			11,605	11,099
			9,089	13,249

上下水道課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 宮古地区維持管理経費	7,960	平成12年3月に供用開始した宮古処理場施設の機能保持、維持管理を行った。	○	A	4-2-4-4 (P112)	-
2 岩出・中角地区維持管理経費	7,577	平成17年3月に供用開始した岩出・中角処理場施設の機能保持、維持管理を行った。	○	A	4-2-4-4 (P112)	-
3 三郷・昼田地区維持管理経費	7,167	平成21年12月に供用開始した三郷・昼田処理場施設の機能保持、維持管理を行った。	○	A	4-2-4-4 (P112)	-

款 2 公債費 項 1 公債費 目 1 元金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	25,068	28,560
決算額	25,068	28,560

本年
前年

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			28,432	128
			22,707	2,361

上下水道課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
1 元金経費	28,560	地方債元金償還のための経費。	○	A	公-6 (P135)	2-⑥-42 (P53)

介護保険特別会計

款 1 総務費 項 3 介護認定審査会費 目 1 介護認定審査会費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	2,540	2,609
決算額	2,478	2,567

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,567	
本年			2,478	
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
介護認定審査会費	2,567	認定審査会委員 10名 審査会開催回数 24回(毎月2回)	○	A	2-2-2-5 (P60)	-

款 1 総務費 項 3 介護認定審査会費 目 2 認定調査等費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	4,761	9,526
決算額	4,415	9,648

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,987			7,482	179
本年			4,415	
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
認定調査等費	9,648	専任の嘱託調査員 1名 主治医意見書手数料	○	A	2-2-2-5 (P60)	-

款 2 保険給付費 項 1 介護及び予防サービス等諸費 目 1 介護及び予防サービス等諸費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	1,060,326	1,140,655
決算額	1,048,425	1,139,706

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
256,264	166,238		484,978	232,226
本年	245,928	148,624	134,961	518,912
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
介護及び予防サービス等諸費	1,139,706	(1)介護サービス給付費 1,063,628,721円 (2)特定入所者介護サービス等給付費 53,002,848円 (3)高額介護サービス費 21,428,644円 (4)高額医療合算介護サービス費 1,178,256円 (5)審査支払手数料 467,370円	○	A	2-2-2-5 (P60)	-

款 3 地域支援事業費 項 1 地域支援事業費 目 1 地域支援事業費

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	26,667	32,508
決算額	25,863	31,923

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,084	5,041		7,855	8,943
本年	8,018	4,009	8,120	5,716
前年				

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
介護予防事業	6,670	「悠ゆう塾」「悠ゆう塾〇B会(朝・昼)」「らくらく倶楽部」「健(脚)健(脳)教室」の4つの介護予防教室が定着してきた。地域での体操サロン「柔らかクラブ」の実施地域も拡充している。	◎	A	2-2-2-6 (P60)	-
包括的支援事業・任意事業	6,069	月に1回「地域ケア会議」を開催し、介護保険事業計画に提言ができた。ケア会議を通じて、医療・介護・保健の顔の見える関係作りができた。地域包括ケアに向けた足がかりができた。認知症地域支援推進員を核とした認知症に対する施策も充実してきている	◎	A	2-2-2-4 (P59)	2-④-31

後期高齢者医療特別会計

款 2 後期高齢者広域連合納付金 項 1 後期高齢者医療広域連合納付金 目 1 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位:千円)

	前年度	本年度
予算現額	219,372	238,163
決算額	218,360	219,393

		決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
本年					134,214	85,179
前年					127,930	90,430

生活福祉課

事業名	決算額	施策の成果	達成度	有効性	総計NO	行革NO
後期高齢者医療広域連合納付金	219,393	後期高齢者医療制度運営にかかる負担金を支払った。 年度末被保険者数 1,920人	○	A	2-2-4 (P66)	-

